2021年11月17日

東海学生陸上競技連盟

会長　國枝　秀世　 様

**感染症対策に関する誓約書**

東海学生陸上競技連盟が新型コロナウィルス感染症対策を講じて行う、第８３回東海学生駅伝対校選手権大会・第１５回東海学生女子駅伝対校選手権大会の出場に際し、以下の事項を遵守して参加し、違反した場合には連盟の裁定に従うことを誓います。

1. 新型コロナウィルス感染症の予防の観点から、参加大学の関係者（選手、付添、監督、コーチ、学生審判・補助員）は、３密を回避する、手指の洗浄・消毒を行う、マスクの着用を徹底するなど、感染症対策を講じること。
2. 参加大学の責任者は、開催地域に入る人の名簿を前日に提出をするとともに、事前に配布する体調管理チェックシートに全員が記入すること。なお、発熱・風邪の症状のある者は開催地域に入ることを禁止する。体調管理チェックシートは各自が管理・携帯し、提出を求められた際は速やかに応じること。開催地域に入ってから発熱・風邪の症状がでた者は、速やかに参加大学の責任で開催地域から離れる対応をとり、また東海学連に当該者の状況を報告すること。
3. 監督車に乗車する者は車内ではマスクを着用すること。また、停車地点で選手に対しマスクを外して声掛けを行わないこと。
4. 参加大学が各自で選手を輸送する際は、コースに沿った走行を避けてスタート地点からゴール地点まで移動すること。**コースに沿って走行したり、コース上で大声にて指導していることが大会役員、競技役員で確認された場合は失格**とする。
5. 参加大学の学生審判・補助員は、バスに乗車中はマスクを着用し、なるべく会話は控えること。また、業務が終了すれば、応援をせず、速やかに帰路につくこと。
6. **参加大学の部員、関係者の応援を禁止**する。また、選手の保護者、卒業生の応援についても参加大学から自粛要請を必ず行うこと。
7. 全大会関係者は感染症予防を心掛け、「密」にならないよう、ソーシャルディスタンスを意識して行動すること。
8. 大会終了後に発熱・風邪の症状が続いた場合には最寄りの保健所や感染症指定病院に連絡して診察を受けること。万が一陽性反応がでた場合には、東海学連にも必ず連絡をすること。
9. 「東海学生駅伝開催のためのガイドライン」を遵守すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大学

監督

主務